

平成30年度
町長施政方針

長瀬町長 大澤 夕キ江

平成30年第1回長瀬町議会定例会の開会にあたり、平成30年度の予算の編成方針と町政運営に関する基本的な考え方、主要施策の概要などをまとめました施政方針を述べさせていただきます。

我が国の経済は、政府が公表する月例経済報告によりまずと「景気は、緩やかに回復している。」と報告され、先行きについては、「雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」と指摘されています。

当町に目を向けますと、平成28年度決算において、将来負担比率については、前年度より比率が低下し、改善されてはおりますが、経常収支比率や実質公債費比率等を含めた財政指標は県内市町村や類似団体と比較して低位であり、今後も厳しい財政状況が予想されます。

また、自主財源の柱である町税収入は、平成21年度以降減収となっており、現下の経済情勢では大幅な回復を見込むことは難しい状況であると考えております。

さらに、一般財源として活用できる財政調整基金は、繰越金の一部を積み立てているとはいえ、町税収入や地方交付税、臨時財政対策債の決定状況によっては、相当額の取り崩しを行う必要があるため、今後も積立、保管、運用、取崩を適切に執行していくことが求められています。

歳出については、高齢化の進展による扶助費などの社会

保障制度に要する費用や老朽化した施設の維持管理経費などの経常的経費が増加していることに加え、少子化対策、定住対策、災害への備えや安全で安心なまちづくり、生活基盤の整備、観光振興、教育の充実など、取り組むべき課題は山積しており、施策の展開については、平成29年3月に策定しました「はつらつ長瀬プラン・第5次長瀬町総合振興計画」の施策の大綱及び平成28年3月に策定しました「長瀬町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、効率的かつ継続的に実施していく必要があると考えております。

さらに、消防指令装置や消防車両の更新、水道広域化等に伴う秩父広域市町村圏組合への費用負担の増にも対応していく必要があります。

このような状況の中、現状のまま、こうした事業に取り組んでいくことは極めて困難であり、引き続き、限られた財源を効果的に活用するため、事務事業の見直しを進めるとともに、町税収納率の向上など財源確保を進める必要があります。

それでは、平成30年度の当初予算編成に当たり定めました予算編成方針の大要及び施政方針について述べさせていただきます。

まず、前提としましたのは、「はつらつ長瀬プラン・第5次長瀬町総合振興計画」基本構想に掲げられた3つのま

ちづくりの基本理念、

- ・いつまでも暮らしたいまち
- ・いつまでも活力のあるまち
- ・いつまでも輝き続けるまち

に基づき、「はつらつ長瀬」の実現を目指し、重要度の高い事業に効率的かつ重点的に資源を集中させ、まちづくりを推進することです。

特に「子育て支援」、「定住・移住」関連施策については、昨年度に引き続き、重点事業として推進いたします。

次に「長瀬町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた基本方針

- ・観光産業を軸とした地域の雇用の創出
- ・新しい人の流れを創りだす定住・交流の活性化
- ・「長瀬で出会い、長瀬で育てる」若年層への支援
- ・町民の幸せな生活を支えるコミュニティの創造

の4つの事項に基づき、まちづくりを推進することです。

また、多様化する町民ニーズへの対応、町民の視点に立った、より質の高いサービスを提供するため、これまでの取組や成果を踏まえながら、職員の更なる知恵と工夫による取り組みにより、町民満足度の向上や町民の参画と協働によるまちづくりの展開を図るとともに、相互に関連し合う事業間の調整を行い、将来の財政負担の軽減を図る効率的・効果的な事業運営に努めるよう求めました。

また、限られた人員や予算等の中で、最少の経費で最大の効果をあげるため、事務事業の効率化を行う一方、「意識改革」と「創意工夫」を図り、現在の財政状況を少しでも改善するよう職員一人ひとりが身近なところから様々な取り組みを心がけ、経費削減に努めるよう求めました。

さらに従来 of 計上方法にとらわれずに全ての事業の見直しを行い、新規・既存事業にかかわらず、積極的な財源確保に努め、国・県支出金や交付税措置のある有利な地方債の借入、その他特定財源の活用を図るよう求めるとともに、維持管理コストなどの後年度負担に十分配慮するよう求めました。

歳入については、町税や保険料等について徴収率の更なる向上に向け取り組みを強化するとともに、歳出については、各種施策の優先順位の選択を行い、節減の合理化や創意工夫するように努め、後年度における財政負担及びこれらに対する財政措置についても十分検討した上で要求するよう求めました。

このような方針に従い予算編成を行いました結果、平成30年度の当初予算案の規模は、

一般会計 32億3,172万3千円

対前年度比 0.7%の増、

国民健康保険特別会計 8億4,953万1千円

対前年度比 22.2%の減、

介護保険特別会計 7 億 4, 9 9 5 万 5 千円
対前年度比 0. 8 % の増、
後期高齢者医療特別会計 1 億 3 2 9 万 2 千円、
対前年度比 1 1. 8 % の増、
となりまして、一般会計と特別会計を合わせ、
4 9 億 3, 4 4 9 万 9 千円、対前年度比 3. 9 % の減となり
ました。

続きまして、平成 3 0 年度予算案に計上した事業のうち、
特に力を入れて取り組みたい事業についてご説明いたし
ます。

はじめに、子育て支援について、子育て支援金の拡充や
「多世代ふれ愛ベース長瀬」を活用した事業の展開のほか、
放課後子供教室事業や中学生学力アップ事業を新たに実
施し、豊かな人間性の育成や学習意欲の向上を図ってまい
ります。

また、引き続きこども医療費の助成や入学祝い金の交付、
学校給食費の一部公費負担など子育てにかかる家庭の経
済的負担の軽減を図ってまいります。

次に、定住促進対策について、魅力ある公園づくりとし
て、長瀬地内、本野上地内、井戸地内に公園の整備を進め
てまいります。

また、地方創生事業として、コミュニティバスに関する需要調査の結果に基づいたモデルプランの検討・策定や移住定住促進に向けたお試し移住体験を実施していきます。

さらに、新たに住宅を取得する新婚・子育て世帯等に対する補助金の交付を、対象要件を拡充して引き続き実施いたします。

次に、公共施設等マネジメント事業として、今後の公共施設の管理運営について、個別施設毎に計画の策定を進めてまいります。

次に、町道幹線1号線、通称「南桜通り」の改良など町道の整備を引き続き進め、適正かつ安全な道路管理を図ってまいります。

ただいまご説明いたしました事業の他、平成30年度もさまざまな事業を予定しております。

「はつらつ長瀬プラン・第5次長瀬町総合振興計画」基本構想に掲げられた施策の大綱の項目に沿って、施策の概要についてご説明します。

はじめに、『誰もがいつまでも暮らし続けられるまち』について、

子育て支援については、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を行うため、家庭訪問や臨床心理士による相談事業、放課後児童クラブ事業を進めていくほか、子育て

て世代の経済的な負担を軽減するため、児童手当の支給を行います。また、民間保育所への委託や民間認定こども園に対する施設型給付も引き続き進めてまいります。

高齢者福祉については、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう介護予防事業や地域包括ケアの充実等に努めるほか、引き続き老人クラブ活動の支援を進めてまいります。

障がい者福祉については、障害者自立支援給付費事業をはじめ、障がい者支援サービスの充実等に努めるほか、高齢者障がい者いきいきセンターの円滑な運営を進めてまいります。

こども医療、ひとり親家庭等医療、重度心身障害者医療、いわゆる福祉3医療の医療扶助についても、引き続き進めてまいります。

健康づくりの推進では、各種がん検診や特定健診を実施し早期発見、早期治療の機会を提供するとともに、健康維持や生活習慣病の予防対策を推進し、引き続き町民の健康増進を図ります。

また、国民健康保険及び後期高齢者医療保険加入者を対象とする人間ドック助成を引き続き実施いたします。

さらに、予防接種事業では、各種予防接種を実施し、疾病の発症及び流行の予防を図ってまいります。

地域医療については、ちちぶ医療協議会により、救急医療や予防医療等の地域医療の維持、向上を図ってまいります。

国民健康保険については、制度改革により、平成30年度から財政運営の責任主体が、町から県へ移行されることになりました。

後期高齢者医療保険や介護保険については、医療給付費等の増加などによる制度の運営は厳しい状況にありますが、安心して医療や介護が受けられるよう、安定した財政運営を行う基盤づくりに努めるとともに、国や県に対して制度の見直しや充実の要望を行ってまいります。

次に、『活力を生み出すまち』について、

観光業の振興については、多様化する観光客のニーズに対応するため、観光案内をはじめとした効果的なプロモーションを行うほか、花を活かした美しい観光地づくりを推進し、観光地として更なる魅力の向上及び交流人口の増加を図ってまいります。

農業の振興については、農産物の生産者団体に補助金を交付するほか、農作物を守るため有害鳥獣被害対策などを進めてまいります。

林業の振興については、林道の維持管理を行うほか、林地台帳の整備と活用に努め、円滑な森林管理に取り組んでまいります。

商工業については、中小企業者が経営に必要な資金を借り入れた場合の利子補給、住宅リフォーム等資金の助成や商工業活動の拠点である商工会への補助を引き続き行っ

てまいります。

次に、『安心して快適に生活できるまち』について、

消防・防災体制については、迅速かつ効率的に災害に対応していくため、消防団装備の充実や消防団組織の円滑な運営を図るほか、消防施設、防災行政無線の維持管理を行うなど、災害に備えた事業もこれまでと同様に取り組み、地域防災力の向上に努めます。

また、全国瞬時警報システム（Ｊ－アラート）の新型受信機装置を設置します。

防犯・交通安全については、防犯灯の維持管理を図るとともに、交通安全啓発活動などの実施により意識の高揚を図るほか、交通安全対策では、危険箇所へのガードレール、カーブミラーの設置、道路照明灯のＬＥＤ化など交通安全施設の整備を図ってまいります。

町道の整備では、南桜通りを含めた町道の改良事業をはじめ、舗装修繕などの維持管理を進めてまいります。

また、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の健全化を図るための修繕設計を進めてまいります。

水害などの被害から守るため、河川改修を引き続き行ってまいります。

町営住宅については、施設の維持管理を行うほか、塚越団地１棟で浴室等の改修を実施いたします。

環境衛生の推進については、上水道、下水道、し尿処理、

市町村整備型浄化槽、ごみ処理及び火葬場の経費を負担いたします。

また、温暖化対策事業として、住宅の太陽光発電システム設置に引き続き助成してまいります。

次に、『一人ひとりが生きがいを持って活躍できるまち』について、

教育環境については、外国人講師による語学指導の拡充、特別支援教育学校支援員の配置や学校施設・設備の維持管理など、引き続き小中学校の教育環境の充実に向けた取組を図るほか、矢那瀬地区の児童安全対策についても引き続き実施いたします。

また、家庭の経済的負担の軽減を目的とした小中学校入学祝金の支給、育英奨学金と入学準備金の貸与等を引き続き実施するほか、秩父鉄道を利用する中学生・高校生の通学費の一部助成を、引き続き実施いたします。

生涯学習の推進とスポーツの振興については、中央公民館や総合グラウンドなど、生涯を通じて意欲的に学習やスポーツに親しめる施設の維持管理及び各種団体への支援を引き続き行ってまいります。

人権意識の向上については、人権教育講演会などを開催し、地域や学校、職場など身近な生活環境から、人権問題に対する理解と認識を深めてまいります。

文化財保護については、国指定重要文化財である旧新井

家住宅の維持管理を引き続き実施いたします。

学校給食については、安全安心な給食を提供できるよう衛生管理を図るなど、施設の維持管理を行うほか、引き続き給食費の一部を公費負担し、保護者の経済的負担の軽減を図ってまいります。

最後に、『町民と行政との協働によってつくるまち』について、

広報については、広報ながとろやホームページで、分かりやすく、新鮮な情報の提供に努め、内容の充実に努めてまいります。

行政運営の強化につきましては、情報化を推進するため、庁内情報システムの運営管理を行うとともに、情報の機密性、完全性を確保するため、情報セキュリティ対策に取り組んでまいります。

また、町民の行政参画を更に進めるため、町への提案制度やパブリックコメントについて引き続き実施してまいります。

さらに、圏域の広域的な行政課題には、関係市町村との連携を強化し、引き続き取り組んでいくほか、ちちぶ定住自立圏構想に基づいた各種事業を進めてまいります。

地域活動の推進については、コミュニティ活動の支援を進め、集会所施設の整備等を行ってまいります。

財政基盤の強化については、総合振興計画等の各種計画

に基づく簡素で合理的な行政運営を図るため、財源の適正配分や財源確保に努めるとともに、町税の適正な賦課徴収等を推進し、経常経費の削減など財政の健全化を引き続き進めてまいります。

また、ふるさと納税寄附金の収入確保を図り、返礼品による地域産業の活性化を図るため、ふるさと納税事業を引き続き進めてまいります。

以上、平成30年度当初予算編成に当たりましての予算編成方針の大要及び施政方針を述べさせていただきました。

行財政を取り巻く厳しい状況を、私をはじめ職員一人ひとりが十分認識したうえで、厳しい状況の中でも創意工夫を図り、魅力あるまちづくりが出来るよう、職員一丸となって事業を進めることが重要だと考えています。

町民の皆様並びに議員各位におかれましては、なお一層の御理解、御協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げ、平成30年度に臨む予算編成方針の大要及び施政方針とさせていただきます。